

平成27年 4月 9日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第一部会第4回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成26年度第一部会第4回定例会議は、平成27年3月5日(木)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第4回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

TEL (022)225-2171 (代表)

主任 監 査 官

佐藤 一 男 (内線2114)

入札契約監査官

岩村 毅 (内線2220)

契約管理官

黒沢 勇 (内線2222)

技術開発調整官

横山 喜代太 (内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成27年3月5日（木） 東北地方整備局 大会議室		
委員	部会長 伊東 満彦【(学)東北学院大学 法科大学院 教授】 部会長代理 久田 真【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】 委員 泉田 成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】		
審議対象期間	平成26年10月 1日 ～ 平成26年12月31日		
審議案件	総件数 9件 （別紙-1 審議案件一覧のとおり）		
工 事	一般競争入札(政府調達)	1件	
	一般競争入札 (政府調達以外)	3件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	1件	
	随意契約	1件	
建設コンサルタント業務等	2件	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
役務の提供等及び物品製造等	1件		
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答	別紙-2のとおり		
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙-3のとおり		

審議案件一覧

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事)	国道45号 南三陸地区道路改良工事	一般土木工事	1	1	26.10.14	(株)不動テトラ	2,916,000	95.0	仙台

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	浪板橋上部工工事	橋梁上部工事	19	18	26.11.11	三井造船鉄構・東開(共)	108,864	89.0	南三陸国道
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	薄葉道路舗装工事	アスファルト舗装工事	3	2	26.11.6	(株)竹中道路	243,000	98.8	郡山国道
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	七ヶ宿ダム放流設備修繕工事	機械設備工事	1	1	26.10.22	(株)IHインフラ建設	96,660	99.5	七ヶ宿ダム管

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	宮古港湾合同庁舎(14)既存庁舎取りこわし工事	建築工事	34	3	26.10.30	陸中建設(株)	66,312	98.6	盛岡営繕

入札方式	工事名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	盛岡出張所庁舎建築改修外1件工事	建築工事			26.11.20	(株)山崎組	10,044	99.8	岩手

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業種区分	手続きへの参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数。	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	河川における魚類の分布変化に関する検討業務	土木関係建設コンサルタント	3	3	26.10.29	いであ(株)	19,872	100.0	河川部
簡易公募型プロポーザル方式	青森管内事故対策検討業務	土木関係建設コンサルタント	4	4	26.10.10	パンフィックコンサルタンツ(株)	16,837	100.0	青森

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	津軽ダム貯水池利活用支援運営業務	役務の提供等	1	1	26.10.14	特定非営利活動法人 日本水陸両用車協会	3,240	100.0	津軽ダム

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
・質問なし	

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 国道45号南三陸地区道路改良工事	
<p>・業者選定の過程において対象工種で施工実績を有し、技術資料の提出が可能な対象業者数が改良で89者、下部工で117者と記載されているが、改良と下部工の両方を施工出来る者は何者いるのか。</p> <p>・なぜ1者の応札だったのか。</p> <p>・評価点が最大で60点のところ落札業者は56点だったが、満点にならなかった理由は。</p> <p>・満点がとれない業者に発注することは問題ではないのか。</p>	<p>・89者である。</p> <p>・この工事は、確保することが困難な鉄筋工や型枠工を要する橋梁の下部工事であり、不調・不落が想定されたことから、他工種も入れ大きな工事として発注することで競争性が高まることを期待していたがこのような結果になった。</p> <p>・提出された資料の中には効果が確認できないような内容もあり、それがこの結果になっている。</p> <p>・満点から減額するのではなく、提案内容に応じて加点していくのでよほど良い提案にならないと満点にはならない。</p>
2 浪板橋上部工工事	
<p>・落札したM・T共同企業体と入札金額が一番安かったYとの違いは何だったのか。</p> <p>・総合評価だと評価点と価格の総合評価で決まるが、入札額が一番安くて落札出来なかった者に対する適切な説明ができるものか。</p>	<p>・落札したM・T共同企業体は、応札した者18者のうち、評価点で3位、価格で4位で総合で1位。入札金額が一番安かったY者は、評価点で7位、価格で1位で総合で2位だった。「東北地方の鋼橋の維持管理低減を図る上で配慮すべき事項」という技術提案のテーマについて、Y者は標準的な提案がされており、M・T共同企業体の提案はそれを上回るものだった。</p> <p>・落札したM・T共同企業体の場合は、入札価格が一番安くなかったとしても、将来の維持管理コストが軽減されることで、トータルコストが低く抑えることができることとなる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・加算点で一番高いのはN者であり提案内容が一番良かったということだが、入札額が高いので落札しなかったということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。
<h3>3 薄葉道路舗装工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅工事で比較的単純な工事のように見えるが、なぜ最終的に1者応札となるのか。 ・落札率が高いが、報道にあるような談合の疑いはないのか。 ・今後舗装工事については、更に厳しいチェックが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福島では除染工事が多数発注されており作業員が確保しにくい。また、この工事はカーブしている現道を上り線下り線を交互に切り替えながら嵩上げをしていくもので複雑な工事として敬遠される傾向がある。 ・落札率が高いものは、入札書や関係書類などを調査し、談合が疑われるような事実は確認出来なかったため入札を続行したもの。 ・事実関係を踏まえ今後、更に適切に対応していきたい。
意見・質問	説明・回答
<h3>4 七ヶ宿ダム放流設備修繕工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・放流設備を設置した会社しか入札に応じていないが修繕工事の競争性を高めるためにどのように対応していくのか。 ・このような設備は交換に備えて図面などは残っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、マーケットの規模にもよるが、当初から汎用性の高い設備を導入することが考えられるが、限度がある。また、工期に余裕を持たせるなど工夫しており引き続き競争性の確保に努めて参りたい。 ・設置当時に納品された、完成図書を入札者に資料として提供している。
<h3>5 宮古港湾合同庁舎（14）既存庁舎取りこわし工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・取り壊すことが解っているのであれば、もう少し早く一般競争で発注できたのではないかと。 ・指名業者の選定方法とB・C等級の総合評価仕切り点の違いについて説明願いたい。 ・応札者はC等級の2者しかいないがC等級を30者選んでいけば、更に競争性が高まったのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省が入居官署からの支出の委任を受けて予算を執行する立場であるが、入居官署側の予算手続きや関係機関との協議に時間を要したため発注時期が9月になったもの。 ・通常10者程度選定するが、震災後の環境の中競争性を確保するためB・C等級で合計30者程度指名した。それぞれ15者程度選定したところ、総合評価点上位のB・C等級で点が異なったものである。 ・結果としてC等級2者のみの参加であるが、地元業者以外にも参加の道を開くことで競争性が高まるものと考えた。
<h3>6 盛岡出張所庁舎建築改修外1件工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・予算措置の関係で工期が厳しくなったことから随意契約をしたということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は2度にわたり入札不調となったが、平成25年度の大雨の影響による雨漏りがひどくなり各種通信機器等の故障が懸念されたことから、2度の入札に参加した者と随意契約を行ったものである。

<ul style="list-style-type: none"> ・整備局の出張所は災害時等の基地になる施設としてしっかり維持管理すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全面的な改築には到ってないが、今後とも適切な維持管理に努める。
7 河川における魚類の分布変化に関する検討業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国の河川の検討業務をなぜ東北地方整備局が行ったのか。 ・業者の過去の実績評価と技術提案の評価の割合はどのようなものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本省の指導のもとに各地方整備局が予算を出し合っている。 ・担当技術者評価が25%で、技術提案の評価が75%程度。技術提案の評価の中には業者の過去の実績評価も入っている。
8 青森管内事故対策検討業務	
なし。	
9 津軽ダム貯水池利活用支援運營業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域ビジョン策定の一環として水陸両用のバス運行の社会実験が必要なのか。 ・他に社会実験を行っているところはあるか。 ・結局水陸両用バスを運行できる者は、今回の落札した者しかいないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム完成後の水源地域の活性化に向け、津軽・白神周辺を移動しながらダム湖を遊覧する計画の実現可能性を探るため社会実験を行うもの。 ・例えば日本水陸両用車協会の協力を得て関東の湯西川ダムと東北の釜房ダムが行っている。 ・全国で車両を保有し運行している会社が3社、運行のみを行っているのが1者ある。なお、本業務は、車両を借り上げて運行しており広告代理店などでも実施可能な業務である。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

道路舗装工事については、比較的落札率が高いものもありより一層談合等に注意して業務をして頂きたい。

維持管理コストを意識した技術提案を積極的に評価すべき。
今後とも一層トータルコストを意識した発注を心がけて頂きたい。

【当局からのコメント】

要望については、今後の入札・契約業務の参考にさせて頂きたい。

またあわせて、本日の報告・議事の中で頂きました委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させて頂く。

またさらなる透明性競争性の確保に努めて参りたい。